



Trippin' Teramachi st.

京都寺町通りの街を歩いて、 「デザイン・ホテル」に込めるのだ。

コレクション自体は2月20日の20時過ぎに始まり約20分間で終了となったが、様々なスタッフがそれぞれの立で作り出した「コレクション」の力を感じた時間だった。「音楽」とは音を楽しむおとなく。だが音楽を運曲する、音楽を制作するという仕事においては、その限りではない。少なからず何らかの表現をするという事においては

Photos: Chiharu Suzuki / Style: Kou Arai / Hair: Miki Kaji (GAPPS)

55W(60/8)

HOTEL

aviii



30W x 10L = 300(832/1165)



太っている割には走るのが速かった？

「美しい」という言葉は音楽にとって最も危険な言葉だ。なぜなら、その言葉を安易に使ってしまった時点で、僕等は考えたり疑問に思ったり発見したりする音楽のもうひとつ重要な楽しみを忘れてしまいかねないからだ。 私が言いたいのは、彼の音楽が70年代のある時期以降ジャズや現代音楽といった音楽ジャンルを定義してきたような枠組みから意識的に自由になろうとしないで、その際に彼が採用した方法が、音楽言語を更新するという20世紀の新しい音楽が常に繰り返してきたやり方ではなく、聴くことの発見に由来する音楽の重要性と、その意味についてだ。 通常、即興演奏、とりわけフリージャズに關わる音楽家は、どうい音を出していか、つまりは何をどう話すのかということに常に心血を注いできたと言っても過言ではないだろう。ところが、富樫が採用した方法は、むしろ音を出してしまっただ後に、その音がどうなっていくか、つまりは何をどう話...



101

Kazuyosi Komatsu
300m

102

Kazuyosi Komatsu
300m

103

Kazuyosi Komatsu
300m

201

Kazuyosi Komatsu
300m

202

Kazuyosi Komatsu
300m

203

Kazuyosi Komatsu
300m

301

Kazuyosi Komatsu
300m

302

Kazuyosi Komatsu
300m

303

Kazuyosi Komatsu
300m

304

Kazuyosi Komatsu
300m

401

Kazuyosi Komatsu
300m

402

Kazuyosi Komatsu
300m

403

Kazuyosi Komatsu
300m



「音楽は、音楽家にとって最も危険な言葉だ。なぜなら、その言葉を安易に使ってしまった時点で、僕等は考えたり疑問に思ったり発見したりする音楽のもうひとつ重要な楽しみを忘れてしまいかねないからだ。」
私が言いたいのは、彼の音楽が70年代のある時期以降ジャズや現代音楽といった音楽ジャンルを定義してきたような枠組みから意識的に自由になろうとして、その際に彼が採用した方法が、音楽言語を更新するという20世紀の新しい音楽が常に繰り返し返してきたやり方ではなく、聴くことの発見に由来した方法を採用している……ということの重要性と、その意味についてだ。通常、即興演奏、とりわけフリージャズに関わる音楽家は、どういう音を出していくか、つまりは何をどう話すのかということに常に

30W x 6L = 180(193/143)



100W x 3



楽のもうひとつ重要な楽しみを忘れてしまいかねないからだ。 私が言いたいのは、彼の音楽が70年代のある時期以降ジャズや現代音楽といった音楽ジャンルを定義してきたような枠組みから意識的に自由になろうとして、その際に彼が採用した方法が、音楽言語を更新するという20世紀の新しい音楽が常に繰り返し返してきたやり方ではなく、聴くことの発見に由来した方法を採用している……ということの重要性と、その意味についてだ。通常、即興演奏、とりわけフリージャズに関わる音楽家は、どういう音を出していくか、つまりは何をどう話すのかということに常に心に心血を注いできたと言っても過言ではないだろう。ところが、富樫が採用した方法は、むしろ音を出してしまっただ後に、その音がどうなっていくか、つまりは何かを深く聴くことの方が重要だ。余韻の「美しい」という言葉は音楽にとって最も危険な言葉だ。なぜなら、その言葉を安易に使ってしまった時点で、僕等は考えたり疑問に思ったり発見したりする音楽のもうひとつ重要な楽しみを忘れてしまいかねないからだ。 私が言いたいのは、彼の音楽が70年代のある時期以降ジャズや現代音楽といった音楽ジャンルを定義してきたような枠組みから意識的に自由になろうとして、その際に彼が採用した方法が、音楽言語を更新するという20世紀の新しい音楽が常に繰り返し返してきたやり方ではなく、聴くことの発見に由来した方法を採用している……ということの重要性と、その意味についてだ。通常、即興演奏、とりわけフリージャズに関わる音楽家は、どういう音を出していくか、つまりは何をどう話すのかということに常に

83W x 1CL = 830(834/667)

